

## 第6 障がい福祉サービス等のサービス量の見込み

第5期計画におけるサービス量の実績および第6期計画における見込みは、以下のとおりです。

※ 「月あたり」の実績および見込みは、各年度末(3月)の実績および見込みを記載しています。

令和2年度の実績につきましては、令和2年7月の実績を記載しています。

※ 「年あたり」の実績は、各年度における1年間の実績および見込みを記載しています。

令和2年度につきましては、令和2年度当初の見込みの数値を記載しております。

### 1 障がい福祉サービス

---

#### (1) 訪問系サービス

##### ① 居宅介護（ホームヘルプ）

障がいのある人の居宅で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

##### ② 重度訪問介護

重度の肢体不自由者などで、常に介護を必要とする人に、居宅における入浴、排せつ、食事の介護や外出時における移動支援などを総合的に行います。

##### ③ 同行援護

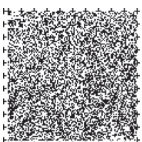
視覚障がいにより移動に著しい困難を有する人に、外出時に同行し、移動に必要な視覚的情報を提供するとともに、移動の援護や排せつ、食事等の介護などを行います。

##### ④ 行動援護

知的障がいまたは精神障がいにより行動に著しい困難を有する人に、行動の際の危険を回避するための必要な支援および外出時の支援などを行います。

##### ⑤ 重度障害者等包括支援事業

意思の疎通を図ることが困難で、常に介護を要し、その介護の必要性が著しく高い人に、居宅介護や通所などの複数のサービスを包括的に提供します。



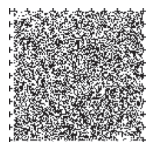
【実績（月あたり）】

区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A		時間		6,644	6,918	7,483
実 績 B		時間	5,499	5,859	5,012	5,358
居宅介護	見込	時間		4,438	4,613	4,800
	実績	時間	3,525	3,821	3,880	3,934
重度訪問介護	見込	時間		1,304	1,352	1,676
	実績	時間	1,208	1,213	691	726
同行援護	見込	時間		852	895	940
	実績	時間	717	768	647 <sup>※</sup>	663
行動援護	見込	時間		50	58	67
	実績	時間	49	57	27	35
重度障害者等包括支援	見込	時間		0	0	0
	実績	時間	0	0	0	0
差 引 き (B-A)		時間		-785	-1,906	-2,125

区 分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A		人		446	466	487
実 績 B		人	364	435	416	421
居宅介護	見込	人		355	369	384
	実績	人	276	335	346	340
重度訪問介護	見込	人		7	8	9
	実績	人	13	13	7	8
同行援護	見込	人		78	82	86
	実績	人	67	77	69 <sup>※</sup>	68
行動援護	見込	人		6	7	8
	実績	人	8	10	5	5
重度障害者等包括支援	見込	人		0	0	0
	実績	人	0	0	0	0
差 引 き (B-A)		人		-11	-50	-66

※ 令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に利用人数が減少したため、利用人数が落ち込む前の令和2年2月の実績を令和元年度の実績としています。

訪問系サービスについては、ほぼ横ばいの状況が続いています。  
 重度訪問介護は、令和元年度から利用者数・利用時間が減少しています。  
 行動援護は、利用人数の増減を繰り返しながら推移しています。  
 重度障害者等包括支援の利用は、ありません。



【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	時間	5,405	5,405	5,405
居宅介護	時間	3,839	3,839	3,839
重度訪問介護	時間	751	751	751
同行援護	時間	657	657	657
行動援護	時間	48	48	48
重度障害者等包括支援	時間	110	110	110

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	428	428	428
居宅介護	人	340	340	340
重度訪問介護	人	8	8	8
同行援護	人	70	70	70
行動援護	人	9	9	9
重度障害者等包括支援	人	1	1	1

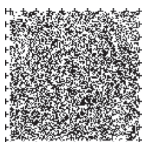
・ 利用人数について

特に記載のない限り、過去の伸び率等を勘案して見込むことを基本とします。  
 行動援護は、利用人数の増減を繰り返しながら推移しているため、平成29年度からの平均値を算出し、見込みました。

重度障害者等包括支援については、過去の利用実績はありませんが、施設入所者の地域移行に連動して、今後利用があるものとして見込みました。

・ 利用時間について

平成29年度からの一人当たりの平均利用時間に利用人数を乗じて見込みました。



## (2) 日中活動系サービス

### ① 生活介護

常に介護を必要とする人に、主として昼間において、障害者支援施設などにおいて、入浴，排せつ，食事の介護を行うとともに，創作的活動または生産活動の機会を提供します。

#### 【実績（月あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		1,038	1,048	1,059
	日		21,795	22,013	22,233
実 績 B	人	996	974	996	1,012
	日	19,133	18,609	19,024	20,133
差 引 き (B-A)	人		-64	-52	-47
	日		-3,186	-2,989	-2,100

生活介護の利用は，増加傾向で推移しています。

#### 【見込み（月あたり）】

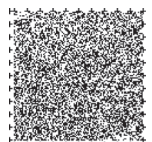
区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	1,022	1,032	1,042
	日	19,755	19,949	20,142

- ・ 利用人数について

過去の伸び率等を勘案して見込みました。

- ・ 利用日数について

平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



## ② 自立訓練（機能訓練）

障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活ができるよう、身体機能の向上のために必要な訓練を行います。

### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		4	4	4
	日		17	17	17
実 績 B	人	0	6	12	8
	日	0	46	62	53
差 引 き (B-A)	人		2	8	4
	日		29	45	36

自立訓練（機能訓練）の利用者は、増加傾向で推移しながらも、増加率は緩やかになっています。

### 【見込み（月あたり）】

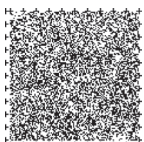
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	10	10	10
	日	66	66	66

#### ・利用人数について

自立訓練（機能訓練）の利用者は、増加傾向で推移しながらも、増加率は緩やかになっていることから、平成30年度からの利用人数の平均値を見込みました。

#### ・利用日数について

平成30年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



③ 自立訓練（生活訓練）

障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活ができるよう、生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 ※
第5期見込量 A	人	/	49	49	49
	日	/	1,025	1,025	1,025
実 績 B	人	43	45	37	43
	日	932	1,014	802	953
差 引 き (B-A)	人	/	-4	-12	-6
	日	/	-11	-223	-72

※ 7月の実績が取れなかったため、6月の実績を記載しています。

自立訓練（生活訓練）の利用者は、増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいで推移しています。

【見込み（月あたり）】

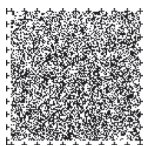
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	43	43	43
	日	946	946	946

・ 利用人数について

過去の伸び率等を勘案して見込みました。

・ 利用日数について

平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



#### ④ 就労移行支援

企業への就労を希望する人に、一定期間、生産活動などの機会を提供し、就労に要する知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。

##### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		85	94	103
	日		1,419	1,560	1,717
実 績 B	人	73	56	49	61
	日	1,151	866	794	777
差 引 き (B-A)	人		-29	-45	-42
	日		-553	-766	-940

就労移行支援の利用状況については、事業所が年々減少していることから、減少傾向にあります。

##### 【見込み（月あたり）】

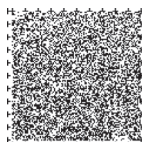
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	61	61	61
	日	917	917	917

##### ・ 利用人数について

減少傾向にあるものの、障がい福祉サービス事業者に関する調査結果においては順調に推移しているため、減少率は考慮せず、令和2年7月の実績が維持されるものとして見込みました。

##### ・ 利用日数について

平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



⑤ 就労継続支援（A型）

一般企業等での就労が困難な人に、雇用契約を結んで働く場を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。

【実績（月あたり）】

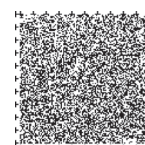
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		193	226	263
	日		3,773	4,420	5,151
実 績 B	人	116	138	158	155
	日	2,311	2,631	3,056	3,153
差 引 き (B-A)	人		-55	-68	-108
	日		-1,142	-1,364	-1,998

就労継続支援（A型）の利用状況については、緩やかな増加傾向にあります。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	164	174	184
	日	3,226	3,423	3,619

- ・ 利用人数について  
過去の伸び率等を勘案して見込みました。
- ・ 利用日数について  
平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。





⑥ 就労継続支援（B型）

一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。B型では、雇用契約は結びません。

【実績（月あたり）】

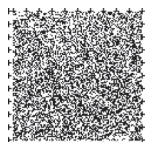
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		784	875	973
	日		13,955	15,567	17,324
実 績 B	人	688	775	795	826
	日	11,578	12,610	12,913	14,284
差 引 き (B-A)	人		-9	-80	-147
	日		-1,345	-2,654	-3,040

就労継続支援（B型）の利用状況については、緩やかな増加傾向にあります。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	867	910	956
	日	14,444	15,161	15,927

- ・ 利用人数について  
過去の伸び率等を勘案して見込みました。
- ・ 利用日数について  
平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



⑦ 就労定着支援

就労移行支援等を利用し一般就労へ移行した人について、就労に伴う生活面の課題に対し、就労の継続を図るために企業・自宅等への訪問等により必要な連絡調整や指導・助言を行います。

【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		5	6	7
実 績 B	人		2	3	3
差 引 き (B-A)	人		-3	-3	-4

就労定着支援の利用状況については、ほぼ横ばいで推移しています。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	12	14	16

障がい福祉サービス事業者に関する調査結果において、令和3年度に就労定着支援事業の実施を希望する事業所があることを勘案して見込みました。

⑧ 療養介護

医療と常時介護が必要な人に、昼間、医療機関などで機能訓練や療養上の管理、医学的管理下での介護および日常生活の世話をを行います。

【実績（月あたり）】

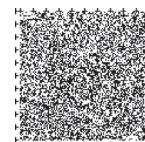
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		55	55	55
実 績 B	人	49	48	45	45
差 引 き (B-A)	人		-7	-10	-10

市内の利用者は固定化しています。令和2年9月には、八雲病院の重症心身障がい60床が国立函館病院に移転しました。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	45	45	45

令和2年7月の実績が維持されるものとして見込みました。



⑨ 短期入所（福祉型，医療型）

居宅で障がいのある人を介護する人が病気の場合などに，障がいのある人を障害者支援施設などに短期入所させ，入浴，排せつ，食事の介護などを行います。

【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		45	46	47
	日		362	370	377
実 績 B	人	29	37	27	23
	日	260	325	240	184
差 引 き (B-A)	人		-8	-19	-24
	日		-37	-130	-193

短期入所については，介助者の体調不良等の理由により利用されるサービスであり，利用状況は一定の傾向を示していません。また，令和2年からは，利用者が減少していますが，新型コロナウイルス感染症の影響のためと考えられます。

【見込み（月あたり）】

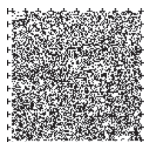
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	27	31	36
	日	226	260	302

・ 利用人数について

新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込んでいますが，利用人数が上向いてきているので，利用の落ち込みがあった時期をデータから除外して，利用人数を見込みました。

・ 利用日数について

平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



### (3) 居住系サービス

#### ① 共同生活援助（グループホーム）

共同生活を行う住居において、主に夜間、相談や入浴、排せつ、食事の介護など日常生活上の援助を行います。

##### 【実績（月あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		385	411	436
実 績 B	人	329	347	387	396
差 引 き (B-A)	人		-38	-24	-40

施設退所者や病院を退院した方の生活の場として、利用実績が毎年増加傾向で推移しています。

##### 【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	416	437	459

過去の伸び率等を勘案して見込みました。

#### ② 施設入所支援

施設に入所している人に、主に夜間、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

##### 【実績（月あたり）】

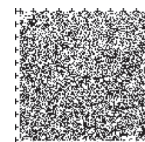
区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		555	552	550
実 績 B	人	548	524	536	539
差 引 き (B-A)	人		-31	-16	-11

施設入所者の地域移行を進めるための施策を実施していますが、新規入所者も多くいるため、利用者数は横ばいで推移しています。

##### 【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	535	531	527

令和5年度の成果目標に合わせて見込みました。



### ③ 自立生活援助

平成30年度から開始されたサービスで、障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する人に、定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。

#### 【実績（月あたり）】

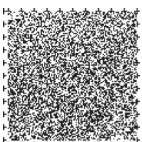
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		4	5	6
実 績 B	人		0	0	0
差 引 き (B-A)	人		-4	-5	-6

自立生活援助の利用は、ありません。

#### 【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	4	5	6

過去の利用実績はありませんが、地域生活への移行を積極的に進めるため、今後利用があるものとして見込みました。



## 2 相談支援

### (1) 計画相談支援

障がい福祉サービスを利用するにあたって必要となるサービス等の利用計画を作成するとともに、定期的にサービス等の利用状況を検証します。

#### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		415	432	449
実 績 B	人	245	255	385	364
差 引 き (B-A)	人		-160	-47	-85

事業所数が増加したことにより、増加傾向で推移しています。

#### 【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	386	409	434

過去の伸び率等を勘案して見込みました。

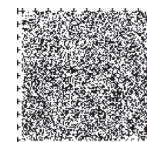
### (2) 地域移行支援

障害者支援施設または精神科病院を退所・退院する予定がある人に対し、住居の確保、地域生活の準備等の入居支援や福祉サービスの見学・体験のための外出への同行支援、地域における生活に移行するための活動に関する相談等の支援を行います。

#### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		8	9	10
実 績 B	人	2	1	1	1
差 引 き (B-A)	人		-7	-8	-9

利用者数は少ないですが、数名の利用がありました。



【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	8	9	10

低調で推移していますが、地域生活支援拠点等が有する機能の充実により、今後利用が増加するものと見込まれるので、前計画と同数で見込みました。

(3) 地域定着支援

地域移行後に独居など地域生活が不安定な人に対し、夜間等も含む緊急時における連絡、相談等の支援を行います。

【実績（月あたり）】

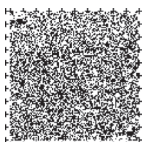
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		4	5	6
実 績 B	人	0	0	0	0
差 引 き (B-A)	人		-4	-5	-6

利用実績は、ありませんでした。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	4	5	6

利用実績はありませんが、地域生活支援拠点等が有する機能の充実により、今後利用が増加するものと見込まれるので、前計画と同数で見込みました。



### 3 障がい児支援

#### (1) 障害児通所支援

##### ① 児童発達支援

成長や発達に不安や遅れのある就学前の子どもを対象に、日常生活における基本的な動作や、知識技術の習得、集団生活への適応を目的とした訓練等を行います。

#### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		192	207	224
	日		2,243	2,423	2,617
実 績 B	人	202	224	234	212
	日	1,995	2,212	2,155	2,412
差 引 き (B-A)	人		32	27	-12
	日		-31	-268	-205

児童発達支援については、3月に比べて6・7月頃の利用人数が落ち込むため、令和2年度の実績について除外した上で、平成29年度から令和元年までの利用状況について見ると、利用者数が増加傾向にあることが分かります。

#### 【見込み（月あたり）】

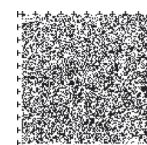
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	250	268	287
	日	2,415	2,589	2,772

#### ・利用人数について

3月に比べて利用人数が落ち込む6・7月の実績である令和2年度のデータを除外して、過去の伸び率等を勘案して見込みました。

#### ・利用日数について

平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。





## ② 医療型児童発達支援

運動発達の遅れや肢体に障がいがある就学前の子どもを対象に、日常生活における基本的な動作や、知識技能の習得、集団生活への適応を目的とした訓練や治療等を行います。

### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		20	20	20
	日		148	148	148
実 績 B	人	27	24	22	28
	日	223	211	109	255
差 引 き (B-A)	人		4	2	8
	日		63	-39	107

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度（令和2年3月）の利用日数が大きく減少していますが、令和2年度には利用状況が戻っています。

### 【見込み（月あたり）】

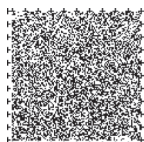
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	25	25	25
	日	195	195	195

#### ・利用人数について

増減を繰り返しながら推移しているため、平成29年度からの利用人数の平均を見込みました。

#### ・利用日数について

新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に利用実績が落ち込んだ令和元年度のデータを除いた平成29年度からの一人当たりの平均利用日数を求め、利用人数を乗じて見込みました。



### ③ 放課後等デイサービス

学校に就学している障がいのある子どもを対象に、放課後や夏休み等の長期休暇中において、日常生活に必要な訓練や指導などの療育を行うことにより、障がい児等の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを行います。

#### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		438	498	548
	日		5,554	6,315	6,949
実 績 B	人	470	534	614 <sup>※</sup>	682
	日	4,960	6,044	6,259 <sup>※</sup>	8,215
差 引 き (B-A)	人		96	116	134
	日		490	-56	1,266

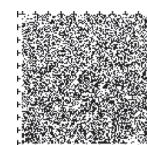
※ 令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に利用人数が減少したため、利用人数が落ち込む前の令和2年2月の実績を令和元年度の実績としています。

ニーズが高く、利用は増加しています。

#### 【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	757	833	900
	日	8,501	9,355	10,107

- ・ 利用人数について  
過去の伸び率を勘案して見込みました。
- ・ 利用日数について  
平成29年度からの一人当たりの平均利用日数に利用人数を乗じて見込みました。



#### ④ 保育所等訪問支援

障がいや発達に遅れのある子どもが通う保育園等を障がい児施設で指導経験のある保育士等が訪問し、集団生活へ適応するための支援や、訪問先施設のスタッフに対する支援方法の助言等を行います。

##### 【実績（月あたり）】

区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		13	16	20
	日		15	20	25
実 績 B	人	11	21	16	14
	日	11	21	17	14
差 引 き (B-A)	人		8	0	-6
	日		6	-3	-11

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度実績、令和2年7月の実績ともに落ち込んでいますが、それ以前は増加傾向で推移していました。

##### 【見込み（月あたり）】

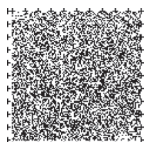
区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	16	19	22
	日	16	19	22

##### ・利用人数について

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年の利用状況は、4月から減少傾向にありますが、5月の緊急事態宣言解除後から徐々に復調してきていることを勘案して見込みました。

##### ・利用時間について

平成29年度からの一人当たりの平均利用時間に利用人数を乗じて見込みました。



⑤ 居宅訪問型児童発達支援

平成30年度から実施されたサービスで、重度の障がい等のため、障害児通所支援を受けるために外出することが著しく困難な障がい児に対し、居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。

【実績（月あたり）】

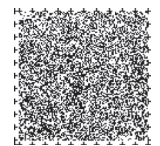
区 分	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		2	3	4
	日		8	12	16
実 績 B	人		0	0	0
	日		0	0	0
差 引 き (B-A)	人		-2	-3	-4
	日		-8	-12	-16

居宅訪問型児童発達支援の利用実績は、ありません。

【見込み（月あたり）】

区 分	単 位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	2	3	4
	日	8	12	16

過去の利用実績はありませんが、サービスの周知を図り利用が増えるものとして、前計画と同数で見込みました。



## (2) 障害児相談支援

障害児通所支援を利用するにあたって必要となる障害児支援利用計画を作成するとともに、定期的に障害児通所支援等の利用状況を検証します。

### 【実績（月あたり）】

区 分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
第5期見込量 A	人		72	78	84
実 績 B	人	122	126	148	102
差 引 き (B-A)	人		54	70	18

障害児相談支援については、6・7月頃の利用が落ち込むため、令和2年度の実績については除外し、平成29年度から令和元年までの利用状況について見ると、利用者数が増加傾向にあることが分かります。

### 【見込み（月あたり）】

区 分	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第6期見込量	人	115	130	147

利用が落ち込む6・7月の実績である令和2年度のデータを除外して、過去の伸び率等を勘案して見込みました。

